

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

思考スキル

○情報を獲得する

- ・問題文から情報や問題の条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示通りの操作を正しく行う

○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則を発見する

○順序立てて筋道をとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立った部分（計算式の数、素数、約数、平方数、…など）に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性に注目する
- ・規則や周期に注目する

○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○視点を変える

- ・図形を別の視点で見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

○特定の状況を仮定する

- ・極端な場合を想定して考える（もし全て○○なら、もし○○がなければ、…など）
- ・不足を補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のもののだけを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答の範囲や大きさの見当をつける

思考スキル

○知識

- ・ 情報を手がかりとして、持っている知識を想起する
- ・ 想起した知識を正しく運用する

○理由

- ・ 筆者の意見や判断の根拠を示す
- ・ ある出来事の原因、結果となることを示す
- ・ 現象の背後にあることを明らかにする

○置き換え

- ・ 問いを別の形で言い表す
- ・ 問題の状況を図表などに表す
- ・ 未知のものを自分が知っている形で表す
- ・ 具体的な数と比を自由に行き来する

○比較

- ・ 多角的な視点で複数のことがらを比べる
- ・ 複数のことがらの共通点を見つけ出す
- ・ 複数のことがらの差異を明確にする

○分類

- ・ 個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・ 共通点、相違点に着目して、情報を切り分けていく

○具体・抽象

- ・ 文章から筆者の挙げる例、特定の状況や心情を取り出す
- ・ ある特徴を持つものを示す
- ・ 個々の事例から具体的な要素を除いて形式化する
- ・ 個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

○関係づけ

- ・ 情報どうしを結び付ける
- ・ 要素間の意味を捉え、情報を補う
- ・ 部分と全体のそれぞれが互いに与えあう影響に目を向ける
- ・ ある目的のための手段となることを見つけ出す

○推論

- ・ 情報をもとに、論理的な帰結を導き出す
- ・ 情報をもとに、未来・過去のことを予測する
- ・ 情報を活用して、さらに別の情報を引き出す

小学3年 基礎力テスト (国・算) —— 解答と解説

算数 (国語と算数あわせて40分)

1

(1)	573	(2)	99	(3)	11					
(4)	54	(5)	3	(6)	ア	1	L	イ	5	dL

21 22 23

24 25 (完答)26

2

(1)	14	わ	(2)	60	cm	(3)	72	こ							
(4)	①	1	時間	10	分	②	15	分間	(5)	①	3	(さつ)	②	2	こ

27 28 29

(完答)30 31 32 33

3

(例) 図2

(1)	
(2)	40 cm

(完答)34

35

4

(1)	5 3 + 4	(2)	1 2 + 3	1 3 + 2	
(3)	3 1 + 5	3 4 + 2	□ □ + □		
	3 5 + 1	3 2 + 4	□ □ + □		

36 (完答)37

(完答)38

国語

（国語と算数あわせて四十分）

問九	問八	問五	問二	問一
ウ	知	エ	ウ	あ
51	ら	47	44	39
	な	問六	問三	い
	ゝ	イ	ア	元気
	け	48	45	40
	ない	問七	問四	え
	い	ア	口	教科書
	(完答) 50	49	や	41
			か	え
			ま	頭
			し	42
			い	お
			46	足
				43

(配点)

算数

① 各2点×6=12点

② (1)(2)(3) 各2点×3=6点、(4)(5) 各3点×4=12点

③ 各4点×2=8点

④ 各4点×3=12点

国語

問一……各2点×5=10点

問二～問九……各5点×8=40点

計100点

【解 説】

② いろいろな文章題

(1) A1 再現する

12わいたところから4わとんでいったので、 $12 - 4 = 8$ (わ)

そこに6わとんできたので、 $8 + 6 = 14$ (わ)

(2) A1 再現する

2mのぼうから1m切りとると、 $2 - 1 = 1$ (m)

1m=100cmなので、40cm切りとると、 $100 - 40 = 60$ (cm)

(3) A1 再現する

1つのはこに、 $2 \times 4 = 8$ (こ) 9はこでは、 $8 \times 9 = 72$ (こ)

(4) ① A1 再現する

$(8\text{時}10\text{分}) - (7\text{時}) = 1$ (時間) 10 (分)

② A2 順序立てて筋道をとらえる

1時間=60分なので、 $60 + 10 = 70$ (分)

かんじドリルと計算ドリルをした時間を合わせると、 $30 + 25 = 55$ (分)

よって、休んだ時間は、 $70 - 55 = 15$ (分)

(5) ① A1 情報を獲得する 置き換え

表とグラフから○1こは1さつ。アは4月に読んだ本なので、グラフより、3 (さつ)

② A2 置き換え 順序立てて筋道をとらえる

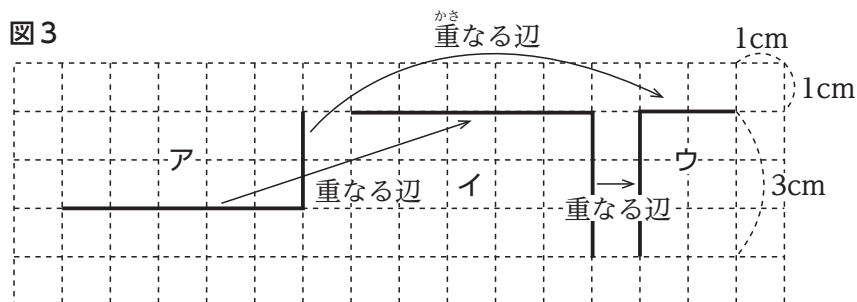
6月をのぞいた合計は、 $4 + 3 + 5 + 3 + 6 = 21$ (さつ)

全部で23さつなので、6月に読んだ本の数、 $23 - 21 = 2$ (さつ)

③ 立体図形の問題

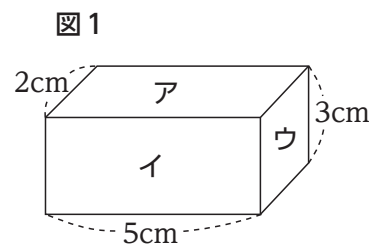
(1) A2 情報を獲得する 置き換え 特徴的な部分に注目する

アと重なっている辺からイとウの面を下の図のようにかくと、それぞれの辺の長さもわかります。イの面は、たて3cm、横5cmの長方形になります。ウの面は、たて3cm、よこ2cmの長方形になります。



- (2) **A2** 特徴的な部分に注目する 順序立てて筋道をとらえる

はこのたて、よこ、高さは、右の図のようになり、
 それぞれ4本ずつあるので、 $2 \times 4 = 8$ (cm)、
 $3 \times 4 = 12$ (cm)、 $5 \times 4 = 20$ (cm)
 合わせて、 $8 + 12 + 20 = 40$ (cm)



4 数の構成

- (1) **A2** 情報を獲得する 置き換え

十の位、一の位のじゅんに数字が大きい数ほど2けたの数は大きくなりますが、一の位の4と3を入れかえてもくりあがることはないので、計算の答えはかわらず、 $53 + 4 (=57)$

- (2) **A2** 置き換え 調べる

十の位、一の位の数字がじゅんに小さい数ほど2けたの数は小さくなります。

いちばん小さくなるようなカードのならべかたは、(1)と反対からならべた、 $12 + 3 (=15)$

一の位の2と3を入れかえてもくりあがることはないので、計算の答えはかわらず、 $13 + 2 (=15)$

- (3) **B1** 置き換え 調べる 特定の状況を仮定する

一の位の数字を入れかえてもくりあがることはないので、2けたの数の十の位は3

一の位の数字の和が6となるのは、 $1 + 5$ 、 $5 + 1$ 、 $2 + 4$ 、 $4 + 2$

$31 + 5$ 、 $35 + 1$ 、 $32 + 4$ 、 $34 + 2$

赤羽じゅんこ『トゲトゲトカゲをつかまえろ!』(国土社)から出題しました。
登場人物の気持ちを想像しながら読みましょう。

問一 A2 知識

二年生までの漢字を問う問題です。とめやはねまで、ていねいに書きましよう。

問二 B1 推論

線①の後から、何があったのか「ぼく」が今まであったことを思い出しています(回想)。そして、1ページの最後の行に「それで、おちこんでいる」とあって、また最初の公園の場面にもどっています。「それで、おちこんでいる」の二行後に「ママにおられると思うと、ゆううつ」とあることから、答えはウです。

問三 A2 知識 関係づけ

「②する」という使い方をしないのはウの「ガミガミ」です。また、「ぼく」は「②する」とまでいわれた「ことを不満に思っているのですから、②にはアカエのようなマイナスの意味の言葉が入ります。ここで陽菜は泣いていませんから、エの「メソメソ」は不適切です。

問四 B1 推論

線③より前から、「ぼく」が「あまりに…ちゅういばかりされるとうるさくなる」と感じるような陽菜の行動を、表現した言葉を探します。
※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問五 B1 理由

線④の直前に「でも、はずかしいだろうから」とあります。ここで「はずかしい」と感じるのは、みんなの前でおならをしたと言われたときの関口くんです。関口くんにはじをかかせてはかわいそう、と思いだまっていた、ということがわかります。よって答えはエです。

問六 B1 理由

線⑤の直前に、「これには、頭にくた。ぼくのいうこと、まったくきこ

うとしない。だから、いつてしまったんだ。」とあります。このことが示されているのはイです。ア「深くきずつけてやろう」、エ「一番気にしていることを言って…反省させよう」とありますが、線⑤の六行後で「そんなにシヨックをうけるとは思ってもなかった」とあるように「ぼく」に、ア・エのような悪意や意図があったわけではありません。ウは、腹が立った相手が関口くんになっているので不適切です。

問七 B1 関係づけ

問二でもふれましたが、公園の場面ではじまり、回想をはさんで、また公園の場面にもどっていることに注目しましょう。答えはアです。

問八 B1 関係づけ

線⑦の直後に、「知らない人と話してはいけなと、学校でよくいわれている」とあります。このことを思い出して、「口をおさえた」のでしょう。この部分から字数に合うように言葉を抜き出しましょう。
※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問九 B2 関係づけ 推論

正誤問題です。選択肢をていねいに読んで間違いさがしをしていきましょう。ア「『ぼく』が…きずつけたのを見て」とありますが、「だれかによれば…佐久間先生もやってきた」とあるように、佐久間先生はけんかの場面を見えています。イ公園で話しかけてきたおじさんは「わらじをはいている」とあります。エ「陽菜は…泣くふりをして」とありますが、陽菜はうそ泣きなどしていません。